

ハイブリッドクラウドへの旅

フィジカルセキュリティ業界は進化を続けています。どのように企業や組織が最新のテクノロジーの変化に対応し、ハイブリッドクラウドを有効に活用しているかを見ていきましょう。

フィジカルセキュリティの主要な3つの潮流

アナログから
IPへ



- 短時間でのシステムの導入と展開
- リモートから複数拠点を管理
- 選択肢、スケーラビリティの増大、より容易な操作

組み合わせから
統合へ



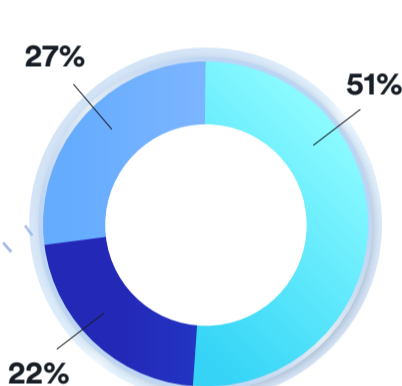
- 入退室管理、ビデオ管理、侵入検知、インターホン
- センサー、ストレージやサードパーティのデータの追加による規模の拡大
- システムへのシームレスな接続

オンプレミスと
クラウドから
ハイブリッドクラウドへ

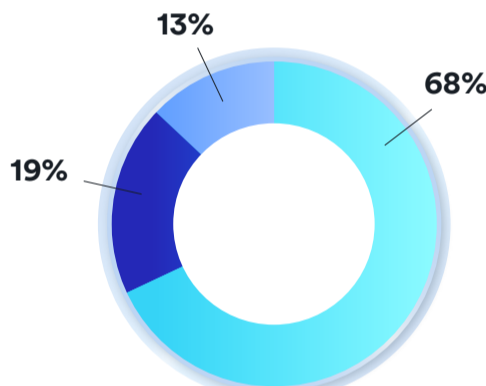


- メリットが得られるものからクラウドを活用
- 既存のデバイスやローカルインフラを使用
- 接続性、スケーラビリティ、メンテナンスの効率化

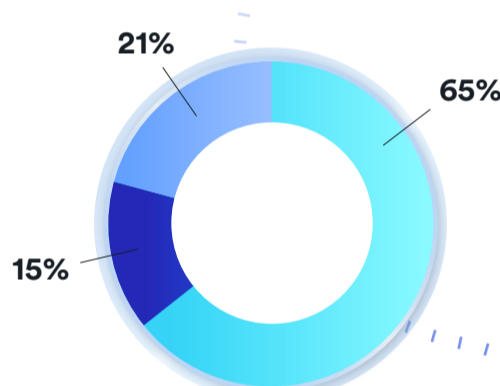
今後5年間の自社の導入設備の変化を予測：



従業員1-200名の企業



従業員201-10,000名の企業



従業員10,001名以上の企業

● ハイブリッド ● オンプレミス ● クラウド

ニーズのあるところにソリューションがあります。

ハイブリッド

特定の拠点向けに最適化されたクラウドとオンプレミスを組み合わせた導入展開

統合化

ビデオ監視、入退室管理、侵入検知、インターホンといったセキュリティアプリケーションなどの統合

場所を問わない

どこでも最も適切な場所に導入可能

オープン

最適なデバイスを選択可能な自由

円滑な導入

既存のオンプレミスやエッジインフラとの互換性

ハイブリッド導入についてもっと詳細を知りたいですか？

[電子ブックを入手 \(EN\)](#)

クラウドかエッジか？

はい。Security Center SaaSは、クラウドでのハイブリッド導入、オンサイトでのエッジに対応し、貴社のビジネスに最適となるように設計されています。

[詳細はこちら](#)